

# ミヤマノコギリシダ

*Diplazium mettenianum* (Miq.) C.Chr.

メンド科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

分布地が稀で、個体数も少ない。(現況:RO)

## 形態

葉は単羽状複生、羽片は中裂から深裂する。葉はやや堅い草質。

## 国内分布

本州、四国、九州。

## 県内分布

南加賀区。

## 生態など

常緑性の半地中性植物で、繁殖は根茎と孢子による。孢子は夏に熟し始め、風で散布する。

## 生育環境

山林のやや陰湿な場所の地上に生育する。

## 危険要因

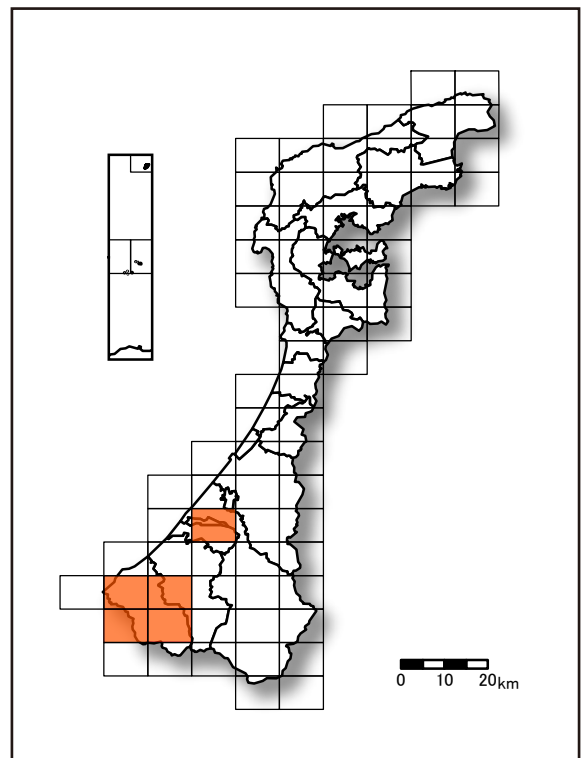
森林伐採、自然遷移。

## 特記事項

羽片の幅が広く深裂し、さらに葉質が薄く、夏緑性である。ウスバミヤマノコギリシダ var. *tenuifolium* Kurata を含む。



林 二良・2005年11月20日・南加賀



県内の分布